

第9回 映画を見て憲法を考える

憲法を考える映画の会 「ニッポンの嘘」

—報道写真家福島菊次郎90歳— 114分

日時：2014年1月18日（土）14時～17時

会場：婦選会館 渋谷区代々木2-21-11 TEL03-3370-0239

参加費： 一般800円 学生500円



■問題自体が法を犯したものであれば、 報道カメラマンは法を犯してもかまわない

戦後日本のあり方を問い続け、メディアが報じない真実や国家のうそを暴いてきた反骨の報道写真家・福島菊次郎に密着したドキュメンタリー。
敗戦直後の広島で被爆者や家族の苦悩を撮影し、隠ぺいされた広島の実態を暴き出して以来、確固たる信念で真実を伝えようとしてきた彼の生きざまや、カメラマン人生最後の取材場所として原発事故の起きた福島へと向かう姿を映し出す。

終戦直後の広島で被爆者家族の苦悩を克明に撮り続けた報道写真家・福島菊次郎は、それ以降も三里塚闘争、安保闘争、公害問題などを取材し戦後日本のあり方を問い続けてきた。
しかし保守化が進む日本社会やメディアと決別した後、無人島での自給自足生活を経て愛犬と暮らす穏やかな日々を送る。
自身の最期を意識し始めた頃、東日本大震災が発生し、彼は原発事故が起きた福島へと足を向ける。



主催：

戦争を考える映画の会

〒185-0024

東京都国分寺市泉町3-5-6-303

TEL:042-406-0502

E-mail: hanasaki33@me.com

検索⇒憲法を考える映画の会

だれでも「憲法を考える映画の会」ができる映画のリスト

「歴史を知る、歴史から学ぶ」「憲法を使う、憲法を自分たちのものにする」
 「知ったことを伝える、伝えて話し、力にする」... 私たちが6回の映画の会から学んだことです。
 さらに続けて広げていきたいと、だれでもどこでも「映画の会」が出来る映画のリストを制作中です。

憲法を考える映画の会 (2013~2014)

- | | | |
|------|--------|-------------|
| 第1回 | 4月06日 | 戦争をしない国 日本 |
| 第2回 | 5月19日 | 八十七歳の青春 |
| 第3回 | 6月15日 | 映画 日本国憲法 |
| 第4回 | 7月06日 | 日本国憲法誕生 |
| 第5回 | 8月10日 | 日本の青空 |
| 第6回 | 9月14日 | ベアテの贈りもの |
| 第7回 | 11月02日 | ショック・ドクトリン |
| 第8回 | 11月30日 | レーン・宮沢事件 |
| 第9回 | 1月18日 | ニッポンの嘘 |
| 第10回 | 2月08日 | “私”を生きる(予定) |



■これからの「憲法を考える映画の会」映画候補

- (憲法)
 「焼け跡から生まれた憲法草案」
 「いのちの山河 日本 青空II」「憲法万華鏡」
 (戦争・反戦)
 「ガイサンシーとその姉妹たち」「靖国」
 「日本鬼子」「戦場の女たち」「花と兵隊」
 (安保・沖縄)
 「標的の村」「ひめゆり」「ひまわり」
 (反原発・反核・原発)
 「放射線を浴びた[X年後]」「ヒロシマナガサキ」
 「チェルノブイリ・ハート」「飯館村放射能と帰村」
 「はだしのゲンが見たヒロシマ」
 (教育)
 「君が代不起立」
 (ファシズム)
 「野獣たちのバラード—ありふれたファシズム」

- 憲法に関わる社会や政治のさまざまな問題を考える「映画のリスト」を制作しています。
- 誰でもどこでもそうした映画を使ってみんな考えられる映画のリストにしたいと思っています。映画を使ってみんなで考える場をお考えの方はお知らせください。映画のご案内、「映画の会」をつくるご案内して行きたいと思えます。一緒に自分たちの映画を探して広げていきましょう。

戦争を考える映画の会

〒185-0024 東京都国分寺市泉町3-5-6-303
 TEL: 042-406-0502
 E-mail: hanasaki33@me.com
 検索⇒ 憲法を考える映画の会